

アセスメント結果シート

利用者情報

利用者氏名： A
生年月日： 1994年7月1日
居住地： 東京都文京区
連絡先： 090-1234-5678

本人に関する情報

本人の就労等の希望：

現在休職中です。休職と復職を繰り返しており、今の仕事に戻るか、思い切って転職するか、転職するなら、半年ほど福祉事業所に通って準備してからにするか等、色々迷っています。

職種・仕事の内容に関する希望：

現在、コンサルタント事務所で資料作成などを行っています。パソコンは一通り使えますが、あまり難しいことは出来ません。
事務業務は評価軸が人によって異なり、要求されていることが分からない時があるので、もし転職するなら、評価基準が明確な職種が良いと漠然と思っています。

希望する合理的配慮：

現在の職場は残業が常態化しており、自分の仕事が終わっていても定時で帰りにくい雰囲気があります。時間内の生産性を上げ、定時で帰ることを認めてもらいたいです。

希望する支援：

仮に転職する場合、どのような職種なら強みを活かせるか、また評価基準が明確な職種はどんなものがあるのか等、情報提供をしてほしいです。

家族の意向：

基本的には本人に任せますが、自己選択のための情報提供をしてほしいです。

アセスメント期間

2025年12月1日～12月28日

期間中の取り組み

【研修受講】

- 12月3日(水) IT研修 (PC操作2)
- 12月5日(金) BP研修 (企業で働くとは)
IT研修 (Office/Word)
- 12月8日(月) BP研修 (企業の原則)
実務研修 (タイピング練習)
- 12月10日(水) BP研修 (仕事で成功するための基本)
- 12月12日(金) IT研修 (Office/Excel)
実務研修 (DMデータ作成)
- 12月15日(月) 実務研修 (グループディスカッション) 計9コマ履修



【その他支援】

- 12月15日(月) 精神科医師によるカウンセリング

アセスメント結果

強み・できていること：

IT研修で実施したPC操作2、Word、Excelの内容は、全て理解し演習も終わることができました。特に、原則的な手順を省かず丁寧に仕上げられることが強みだと言えます。

BP研修では、企業の原則を3回に分けて学びました。仕事観について、インストラクターに積極的に質問するなど、ご自身の現状を変えたいという意気込みを感じました。内容は十分に理解されたと思います。

実務研修では、差込印刷によるDMデータ作成に取り組みましたが、ここでも正確さと丁寧さが発揮されました。グループディスカッションでは、最初は緊張しておりましたが、途中からは積極的に発言してリーダーをサポートするなど、時間内で成果を出すことの重要性を理解し、実践もできていたと思います。

就労に向けて取り組んでほしいこと：

IT 研修は使用経験のある Office ソフトの使用でしたので、課題が簡単だったのではないのでしょうか。Web やプログラミングなどの選択肢もあった分、ややもったいなく感じました。

こちらの説明や指示について理解力の高さも伺えたことから、リスクリングの時代、新しいことに挑戦する姿勢を持って良いと思います。

BP 研修では、「会社がそうなのだから仕方がない」といった考え方・発言が見られました。確かに周りの影響はありますが、ビジネスの原則は自分側の取り組みにあります。刻一刻変化する状況に対し「自らはどうするか」を常に考え、成果を出して行くことが重要です。以降の取り組みに期待します。

精神科医のカウンセリングでは、自分軸での評価基準を育てて行くことをテーマに話し合いました。平たく言えば、「他人の評価は一旦横へ置いておき、自分自身が楽しいと思うこと、心地よと感じる状態」を、より自覚し、そのような環境づくりを心掛けていくことで、気持ちの余裕が生まれます。今すぐに改善するというよりも、長期的な取り組みが必要な事柄です。

支援機関から提供する（した）情報：

評価基準の明確な仕事としては、やはり専門職が挙げられると思われませんが、それでもお客様からの評価等は、ある程度は定性的なものになりがちです。このため、事務職からエンジニア職にキャリアチェンジした方の事例を紹介しました。

また、強みとして「正確な処理」「丁寧な仕上がり」「周囲への積極的なサポート」が見られましたので、適性の評価としてフィードバックしました。

将来の可能性：

今回学んだ仕事観で業務に取り組むことで、復職の場合でも、これまでとは違った人との関わり方や、自分軸の評価基準を育てる取り組みにより、ある程度ストレスを軽減することが可能となり、長期的なキャリアを築くことは十分出来ると思います。

転職の場合は、ある種の専門性を身につけてからの方が良いでしょう。興味・関心のある職種について、訓練と就労を支援してくれる福祉事業所や専門教育機関などの利用が考えられますが、その間は無給となってしまうため、現在の仕事の退職金、失業保険給付や傷病手当金など、経済基盤について予め調査・試算してからの行動を推奨します。

いずれの場合でも、多角的に情報収集し、必要に応じて専門家の意見も聞きながら、ある程度時間をかけて考慮されると良いでしょう。身近で支えてくれるご家族にも、ご自分の気持ちを添えて、相談してみてください。

必要な支援と配慮：

本人の心情を第一とした、関係機関による情報提供

本アセスメント結果を踏まえた、医療機関・支援機関による定期的な相談支援

総合コメント：

これまでのキャリアで、丁寧で正確な仕事ぶりを培って来られました。今後、どのような仕事に就いても高く評価される点だと思えますので、引き続き、磨き上げて行ってください。将来的なキャリアビジョンに悩みがあるようですが、短期的な判断基準で考えるよりも、今後のご自分の人生をどのように過ごして行きたいかを描き、それらを実現できる仕事への取り組み方を考えることで、最終的な判断をされると良いと考えます。周囲に対しては、気配りが出来て積極的にサポート出来る反面、それが高じて気疲れしてしまうこともあるようです。自分軸の評価基準を粘り強く育て、長所として程よく発揮できるよう頑張ってみてください。

本人からの感想

本人からの感想：

いくつかの研修を受ける中で、社会人として長く働いてきたが、あまり分かっていなかったこともあったなと思いました。人間関係と評価の視線に疲れ、知らず知らずのうちに他責的になっていた自分に気づくこともできました。IT や実務の研修は、思ったほどは難しくはありませんでしたが、久しぶりに仕事らしいことをして懐かしく感じ、また働きたいなど自然と思えました。

今後は、もう少し余裕をもって、というか、少し自分と距離感を保った状態で仕事に取り組み、ゆったりした気持ちでやってみたいと思います。転職と復職も、もう少し考えてみます。

今後の希望：

休職期間はもう少しあるので、クリニックの先生と相談しながら、他の社会資源の活用について調べる等して、将来の可能性について話し合っていきたいと思えます。

準備性評価結果

就労準備性		
カテゴリ	評価基準	達成レベル
1. 勤怠	勤怠実績が基準を満たしている。	S (十分達成)
2. 外見	清潔感のある服装をしている。 健康さを感じさせる姿勢と動作である。 適度な声の大きさと、話す言葉が明瞭である。	A(ほぼ達成)
3. 取り組み姿勢とベスト意識	経験の有無、得手不得手、好き嫌いに関わりなく物事に取り組むことができている。 改善意欲があり、常にベストを目指し、	A(ほぼ達成)

	工夫できている。	
4. 自己主張・傾聴・調整	自己主張と傾聴ができている。 他の人との違い（考え方、意見）を理解できている。 解決に向けての議論・調整ができている。	S (十分達成)
5. 果敢さと慎重さのバランス・QCD意識	チャレンジ精神が旺盛であると共に検討が緻密である。 失敗しても投げ出さず、次に向けて改善策を考え、行動することができている。 常にQCD意識を持って発言・行動ができている。	A(ほぼ達成)
6. 準備と必達意識	全体を俯瞰してから作業を開始することができている。 一日の訓練開始5分以上前に、その日の作業開始の準備ができている。 諦めずに最後までやり切ることができている。	C(未達成)
7. 自主性	人の発言、ネットでの発言ではなく、自分の理解・考えで発言・行動できている。	S (十分達成)
8. 報告	漏れなく、重複なく、タイムリーに、短時間に報告ができている。	B(やや未達成)

職業準備性 (ビジネス)		
カテゴリ	評価基準	達成レベル
1. 企業理解	企業が社会から求められていることは何かを正しく理解出来ている。	S (十分達成)
2. 仕事観5つの基本－貢献による報酬の基本	企業で働くとは、顧客の創造に貢献することであると理解出来ている。	A(ほぼ達成)
3. 仕事観5つの基本－職業人の基本	プロとして働く心構えと、技術を磨く練磨の必要性を理解出来ている。	A(ほぼ達成)
4. 仕事観5つの基本－人間関係の基本	職場での人間関係について適切に理解し、スムーズな連携をつくる事が出来る。	B(やや未達成)
5. 仕事観5つの基本－組織活動の基本	仕事観5つの基本－組織活動の基本	S (十分達成)
6. 仕事観5つの基本－自己実現の基本	業務にあたり、適切に創意工夫を取り入れ、自主的に取り組むことが出来る。	S (十分達成)

7. 応対コミュニケーションの習得	基本的な応対コミュニケーションが出来る。	C(未達成)
8. 就労マーケティング発想の理解	就労市場において、自分の強いを正しく理解し、発揮できる企業とのマッチングを図ることが就労活動であることを理解している。	S(十分達成)
9. 就労活動準備(書類作成・面接 RP)	基本的な就労活動の準備が出来ている。	B(やや未達成)

職業準備性 (IT)		
カテゴリ	評価基準	達成レベル
1. PC 操作スキル	PC を使ったブラウザやメール、Office の操作の基本的な操作が出来る	S(十分達成)
2. PC ハードウェアの基礎知識	コンピュータやネットワークの仕組みを理解している	A(ほぼ達成)
3. プログラミングの基礎スキル	何らかの言語を使って自力でプログラムを書くことができる	C(未達成)
4. IT 関連ツールの操作スキル	新しいアプリケーションでも外部情報等を参照しながら自力で使うことが出来るようになる	S(十分達成)
5. ネットワークの基礎知識	インターネット等ネットワークの基本的な仕組みを理解している	S(十分達成)
6. データサイエンスの基礎知識	統計学の基本的な概念(平均、分散、相関、回帰)、データ分析の目的について理解している	C(未達成)
7. WEB フロントエンドの基礎スキル	WEB サイト構築の知識があり HTML や CSS を簡単な WEB サイトを書くことができる	C(未達成)
8. 情報セキュリティの基礎知識	個人情報保護、ウイルス対策、不正アクセス対策など、基本的な情報セキュリティの脅威と対策の概念を理解している。	A(ほぼ達成)
9. IT 分野の問題解決能力	IT 機器やアプリケーションのトラブルを自力で解決することができる	A(ほぼ達成)
10. IT 新技術への学習意欲	新しい技術について興味を持ち学習に取り組める。業務に必要な技術は自力でキャッチアップできる。	S(十分達成)